

4%の教職員調整額は、1日あたり わずか18.6分(是非、定数改善を)！ (組合)



発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
Tel 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1

香教組「署名・カンパ」ご協力ありがとうございます。
声を県へ届けます！

十二月二十六日、香教組三豊支部（高嶋正三支部長）は、県教委西部教育事務所（末澤康彦所長）に、教職員の勤務条件改善と多忙化解消のための要求行動をいたしました。詳しくは次のとおりです。

《賃金保障について》

安心して教育活動に専念できるような給与を保障すること！

組合 12月27日に賃金改善（差額支給）があるようだが、教員の勤務時間は長くなる一方で実質賃金は下がっている。安心して働けるような給与額を保障して欲しい。また、退職金の減額はやめて欲しい。

《少人数学級について》

必要な所にお金を使い、すべての小中学校で30人以下学級を実現すること！

組合 少人数加配があっても空き時間がなく忙しい。30人以下学級を国に訴えて欲しい。

《加配の拡充について》

組合 仕事量が多く大変忙しい。小中学校において、8時間（7時間45分）責任をもって働けるような教育困難校加配（正規雇用）を更に拡充して欲しい。

三豊支部が西部教育事務所へ要求書提出

教職員の勤務条件を改善するために、下記のとおり要求します。

記

- 1、教職員の生活に見合った賃金を保障すること。
- 2、小中の30人以下学級を早期に実現すること。
- 3、教育困難校加配をさらに拡充すること。
- 4、勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること。
- 5、全児童・生徒対象の「学習状況調査」を今後実施しないこと。「全国学力テスト」を実施しないよう文科省に申し入れること。
- 6、勤務時間を守るよう適切な指導を講じること。また、代休やわりふりについては実質とれるように指導すること。
- 7、小学校の特別クラブ、中学校の部活などの適正化を図ること。
- 8、教職員の信頼の厚い民主的な人を管理職として登用すること。そして、管理職の人権意識を高めるよう指導すること。
- 9、教育事務所訪問をやめること。少なくとも授業参観及び指導は、希望者のみにすること。
- 10、管理職が多忙化を解消し教職員の健康管理に配慮するように指導すること。
- 11、その他



《成績主義賃金廃止を》

勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること！
組合 教育活動はチームでできているのか疑問である。「管理職に嫌われているから評定が低いのか?!」と心配する教員もいる。皆が納得できないような成績主義賃金制はやめて欲しい。

《学力テスト等廃止を》

組合 突然、英語スピーキングテストが実施されることになり、タブレットの使用も含めて、大変指導が難しく、また、多くの教員がその指導に充てられた。「教員の働き方改革」が叫ばれる中、さらに多忙を極めている。英語スピーキングテスト、全国学力テスト、県学習状況調査と複数のテストの実施はいろいろな。

《勤務の適正について》

勤務時間を守るよう適切な指導を講じること！また、代休や割り振りは実質とれるように指導すること！
組合 教員の長時間労働が深刻化し国や県も「教員の働き方改革」に取り組んでいる。修学旅行等の超過勤務に対する回復措置の要望に対して、過去に管理職が「特殊勤務手当が出ていないから割り振りは出せない。」と言ったケースがあったようだが、特殊勤務手当は、泊を伴うことや勤務が困難であるという勤務の特殊性から手当が出されているものであり超過勤務を保障するものではない。従って、手当が出ていないから際限なく働かせても良いということではなく、むしろ、超過勤務に対しては回復措置を講じるべきである。また、「公立学校の時間外勤務命令の制限」（給特法、限定4項目）①実習、②学校行事、③教職員会議、④非常災害業務、にあっても「臨時又は緊急にやむを得ない必要がある場合」とされている。

ある学校では校長が提案し「計画年休制」を導入している。ある学校では「ノー残業デー」を設けている。このような事例は有難い。
組合 勤務の割り振りに関しては、こんな話もある。行

政一般職では、残業をすると約1.5倍程度の時給で残業手当が支給される。しかし、教員の場合は職務と勤務態様の特殊性に基づき4%の「教職調整額」を支給し、残業手当は出さないことになっている。一カ月20日の勤務として、この4%を一日当たりの時間として計算するとわずか18.6分である。教員は普段から、これをはるかに超える残業（持ち帰りも含む）を行っており、たったの4%分の「教職調整額」では教員の残業時間を保障するものとならない。よって、超過勤務の回復措置として、割り振りを与えることは当然のことである。

組合 今話題となっている「変形労働制」は教員にはなじまない。学期中が繁忙期だからといって勤務時間を延ばしても結局見積もった時間よりも更に（退庁時間が）遅くなるだけであるし、長期休業中は閑散期であるといっても、学期中の割り振りがきちんと取り切れないぐらい忙しいので、更なる多忙を招くだけである。根本的に改善しないと小手先の調整では追いつかないほど多忙である。県教委でも更に、教職員の定数改善を国に強く働きかけて欲しい。

組合 勤務時間管理にICカードを導入している学校もあるが、ある教員が残業した後、ICカードを押すことができずに退庁したが、管理職が気を利かせてICカードを押してくれたそうである。そこまでは良いのだが、「退庁時間を4時30分にしたら・・・」そうである。ある教員は、残業したのに少ない時間で（ICカードを）押されたしまった。「もしかしたら勤務時間の管理上、少しでも短く結果



〔北岡所長補佐〕



〔香教組三豊支部〕



信頼できる民主的管理職を！ 「年休、病休、公務災害」適正取得を！ 働きやすい民主的な職場づくりを！ (組合)

を出したいのだろうか？」と不信感を抱いている。

《特別クラブ・部活動の適正化を》

組合 ある学校の特別クラブ・部活動で、毎月集金をしてまで運営しているのは行き過ぎではないか。従来からやっていたので軽減しにくいと思うが、多忙化で働き方改革を進めている中、適正化が図られるようお願いしたい。

《民主的な管理職を》

組合 民主的な管理職登用をお願いしたい。

組合 三観の中学校である教員が校長から「年休を別の日に取ってくれないか。」という話をされた。この教員は部活動で県の役員をしており、大会の会場取りのため遠方の高松市に5時前までに向かう必要があった。年休を取得しようとした日は午後から授業も入っており、部活動もない日だったため職場への影響も少ないだろうと考えての日程の選択だった。そもそも、年休取得時に理由は言わなくてもよい。役員として皆のために働いてくれている。「職免」でもよいのではないのか。この件を県教委の交渉でも話をしたが、工代教育長は、「管理職はちゃんと分からないかな。」とコメントしている。

組合 また、三観のある学校では体育の授業中に教員が模範演技をしていてケガをした。これに対して教頭は、「公務災害にしますか？」と尋ねてきた。この状況を考えれば間違いなく公務災害である。何故、疑問形で聞くのか理解できない。よく似た件で、「公務災害」や「病休」は、管理職はあ

まり取らせたくない傾向にあるのではないか。これは問題である。きちんと適正に取得できるように校長会でも指導して欲しい。

《学校訪問について》

組合 ある学校の教員が校長に、「相談がしたい・・・。」等をお願いをしたが、「後で・・・。」と言われたり、帰り際の時間の無い時に、「さっきの話は何だったの・・・。」と言ったりするなど、親身になってくれない。職場において疎外感を感じ、仕事を辞めたことまで思うこともあるようだ。管理職が意識して働きやすい職場づくりをリードするよう指導して欲しい。

《多忙化解消について》

組合 授業参観や指導は希望者だけにすること。教科は指定しないこと。学校訪問の内容(日程)は、市町教委の指導の下、各学校で定めることになっているが、各校長によつては内容を増やし時間をかけて準備することが、良い学校経営であるかのように勘違いしている人もいる。普段通りの状況をありのまま見せることが大切である。「教職員の働き方改革」が叫ばれる中、学校訪問の軽減についても校長会でも呼びかけ・指導して欲しい。ある学校では、学校訪問時の授業参観後の指導について、50歳代以上は廃止とした。これにより、余分な労力やストレスが軽減された。

と！

組合 勤務時間が長くなっている。家庭と仕事の両立ができる職場を実現するため、業務改善や多忙化解消策を講じて欲しい。

《多忙化解消について》

組合 ある学校では特に11月の行事等が多く(音を観る街コンサート、学校訪問、研究会、PTA参観、試合、審判講習会、テストなど)先生方は、ほぼ毎日9〜10時の退庁時間となっていた。現在も教員が4人もインフルエンザにかかっている。新しく行事を増やすなら、何かをやめないといけない。

《多忙化解消について》

組合 小中の校種間異動については働き方が大きく変化するものであるが、本人の希望なしに中学校から小学校に異動したケースがある。大変苦労があると思われる。本人が病休や退職等に追い込まれた場合は、どう指導・責任をとってもらえるのか?ある意味パワーハラではないのか。大きい変化の異動は本人の意志確認をして欲しい。

《多忙化解消について》

組合 不登校対応で家庭訪問をした際、児童・生徒を自家用車に乗せて移動中に事故を起こした場合、その補償や対応はどのようにすればよいのか教えて欲しい。

《多忙化解消について》

これら組合の要求に対して県教委西部教育事務所(北岡所長補佐)は次の様に回答しました。
所長補佐 要求は、所長や県、校長会へ伝えます。



三豊支部 署名達成集会

皆さんにご協力を頂いた「ゆきとどいた教育を求め全国署名」が1500筆を超え、11月23日に達成集会を開催しました。



署名達成集会 教育会館 (達成集会での歓談の様子)



三豊支部

三豊教育会館大掃除&忘年会&OB会

年の瀬の12月29日に香教組三豊支部では、三豊教育会館の大掃除と忘年会とOBのみなさんと語る会が開催されました。大掃除では一年間の汚れをきれいに掃除しました。忘年会においては、18年の教育活動や出来事を振り返り、様々な話題で盛り上がりました。



三豊支部忘年会&OB会 教育会館 (写真は昨年の懇親会の様子)

